



クラスだより

6年生 オリンピック 5月27日(土)

6年生は、5月27日土曜日に3校合同で（藤野のシュタイナー学園、東京賢治シュタイナー学校とともに）オリンピック大会を開催しました。

5年生の3学期に、古代ギリシャの歴史、ギリシャ神話、アテネやスパルタなどのポリス（都市国家）の雰囲気や考え方、古代オリンピックの様子などについて学びました。そして、今度は自分たちが、3校入り混じり、アテネ、スパルタ、テーベ、コリントスの4つのポリスに分かれ、古代ギリシャの衣装であるキトンを身に着け、ポリス市民となってオリンピックを行いました。

古代ギリシャの平和と均衡が破れた時代、ポリス間の戦いを一時やめ、オリンピックの開催を告げる伝令がポリスにやってきたことから、私たちのオリンピックは始まりました。それからゼウス神や神々（審判団の先生方）が見守る中、開会式へと進みました。詩を唱え、古代ギリシャの歌をギリシャ語で歌い、笛を奏で、式は厳かに進んでいきました。そして、聖火をとますために、火おこしを始めたのですが…。ところが、火がなかなか起きず、火おこし担当の子どもたちは、こんなはずではなかった、練習の時にはあんなに簡単についたのに、と焦ったはずです。全員交替で火おこしに没頭するポリス、または、祈るような気持ちでじっと見守る子どもたちのいるポリスもありました。前日の雨の微妙な湿気が火おこしに影響していたようでした。

ついにテーベで火がついた瞬間、拍手の波が広がり響き渡って、本当に感動的でした。途中でやめさせなくてよかった、と私は思いました。一番焦ってほとんどあきらめかけていたのは私たち教師のほうでしたが子どもたちの粘り強さに助けられました。

競技は、走り幅跳び、円盤投げ、槍投げ、レスリング（格闘技のレスリングとは違います。）、中距離走、リレーを行いました。走り幅跳びでは、体の中の美しいリズムとともに跳び、円盤や槍投げでは、自分の力を道具に伝え、美しい弧を描くよう投げました。また、正々堂々と自分の力をつくし、競った相手を心から讃えることを心に留めて行いました。6年生は、勝ち負けを意識したり、人よりも強く、速くということが気になるでしょう。それはあるけれど、しかしそれを越えて、自分の今もっている力を知り、それを最大限に出せるかどうか。全力を尽くすということは、案外難しい、ということは子どもたちとも話していました。たとえ、力を出し切れなかったとしても、自分と向き合って己を知ったことは、とても意味のあることだったと思います。

競技中、各ポリスの中では戦略をたてて順番を決めていました。みんなが、必死の形相で競技し、お互いの名前を呼び合って応援し、讃えあっていたのは、とてもよい光景でした。

閉会式では、子どもたち一人一人に、賞状とオリーブの冠が渡されました。例年、賞状には、審判の先生方がその子の良かったところを一言書いてくださいます。審判団の先生方にも感謝です。私のクラスでは、賞状を額にいれて飾っている子がいるそうで、本当にうれしかったのだと思います。子どもたちは、他校の子と友達になれた、押しつぶされそうな緊張感を体験しつつも、始まったら緊張がとれてうまくいった、思い通りに槍が美しく弧を描けた、レスリングがもう一歩で悔しかったなどと感想を言っていました。早朝集合した時には、かなり興奮気味だった子どもたちでしたが、終わってしまえばあつという間の楽しい時間だったようです。子どもたちそれぞれが、言葉ではうまく言い表せなくても、たくさんのことを感じ取ったオリンピックだったとうれしく感じています。

(6年生担任 小林裕子)



生徒たちの学園祭 6月10日(土)

「今までとは違った学園祭を」という思いが、話し合いを始めた頃から9年生にはありました。初めから全員がそうだったとは言えませんが、話し合いを重ねるうちに自分たちの個性を生かした学園祭を行いたいという気持ちがクラス全体に広がっていきました。

生徒たちが最初に話し合ったことは、学園祭の目的についてでした。保護者の皆さまの後姿を見て育ってきた生徒たちの口からまず出てきたのは、「この学校のことを知ってもらいたい」「シュタイナー学校のことを広めたい」という言葉でした。それには私も少し驚きましたが、大人だけでなく生徒たちもそのように思っているのだということを知り嬉しく思いました。

もちろん、学園祭の目的の一つは、7・8・9年生の交流を深め協力して楽しむことだという声もあがり、学園祭のテーマは「Let's Enjoy!」と決まりました。そして、その言葉に含まれている意味を補うために、生徒たちはサブテーマ「今を輝け、未来へ向けて」を添えました。このテーマについて考えるときにも真剣な話し合いが続き、その中できっと準備の作業では楽しいだけでなく苦労もあるだろうということも意識されました。それと同時に、その苦労をも楽しもうというような意見が多く出されました。

そうして、7・8年生との最初の話し合いが行われ、いよいよ本格的に作業が始まりました。

9年生には、7・8年生を率いていかなければならないという責任があり、それは8年生の頃までとは異なることでした。そのため、9年生の生徒たちの働き方は、前とは違った熱心さがありました。下級生を率いる立場として、仕事を分担したり指示したりするのは、思うよりも難しいことですが、よく努力していました。

生徒たちは、まずやりたいことを9年生で話し合い、それから下級生にも投げかけ意見を聞いて実行にうつしていきました。発表会では合唱・合奏・劇を行うこと、学園の学びについての展示を行い説明もすること、個人発表の時間を設けること、加えて、縁日、新生ダボルニア帝国、カフェの内容について検討すること等、やりたいことは沢山ありました。それを実現するには、それを担った生徒たちが責任を持ち準備をする必要がありました。9年生同士、そして下級生との協力が不可欠なことでした。やりがいはあるけれど、責任の伴う沢山の作業や練習をしなければなりません。しかし、生徒たちはそれぞれ自分の仕事に責任をもって取り組み、大変なことも楽しみながら協力して乗り越えていきました。

自分たちがやりたいと思うからやるのだという姿勢、どうやったら実現できるかを考え実行する意思の力、一緒に作業する人への感謝の気持ちやお互いの励まし合い、そういうものを生徒たちは準備期間中に見せてくれました。

やりたいと思うから身体が動く、大変でもそれを楽しめる、生徒たちにはそういうことがとても自然なようでした。つまり、外からではなく彼らのうちから沸き起こる熱によって、学園祭は準備され行われたと言えるのです。

(9年生担任 神田ひとみ)



オープンデイ 6月10日(土)

今年も無事にオープンデイと学園祭が終わりました。沢山の方にご来場いただき、有難うございます。楽しんでいただけたかどうかは来て下さった皆様に委ねることにして、今回は裏話?！を少し…。ここ数年、オープンデイでは教員による教育紹介や個別相談室に合わせて、お子さんたちのお預かりを『子どもの部屋』で行っています。おそらく私たちの学園だけでなく、シュタイナー教育を実践する場では“子どもの環境”ということにはとても気を配っていると思います。ですから、大人のための教育紹介を子どもには聞かせたくないの、では、保育室が必要だね、という流れになっているのです。学園で行われることはなんでもそうなのですが、子どもが邪魔だからという理由ではなく、子どもにふさわしいか?ということでも色々進むのです。さて、手前味噌になってしまいましたが、この『子どもの部屋』は毎年素晴らしいです。はじめて来た場所で子どもたちが少しでも安心していただけるように優しい空間になっています。床にはゴロンとできるようなマットもあり、子どもたちはその上で教師が語る素話を聴きます。この日の為に、教師は小さな子のための素話をまた思い出し、(きつと練習をして?!) 臨んでいます。傍らで見ていると、ポカンと口を開けた幼子たちがメルヘンの世界へ入っていく様は、なんとも言えず幸せです。もちろん中には、お母さんと離れて泣き出す子もいて、スタッフは抱っこをしながら寄り添います。それでも涙が止まらない時は、お母さんには受講を諦めてもらっています。いつでも子どもを中心に!というのが、私たちの願いです。

さて、では私たちがオープンデイの準備や仕事をしている時、学園の子どもたちは…というと、その子たちもまた楽しく1日を過ごせるように企画してくれる保護者がいたり、お家で預かってくれる保護者がいたり、そこでもまた子どもたちのことを考えて動いてくださる大人がいるのです。特に低学年の子には、1日のお預かりは負担になるだろうから、半日にしましょうね、というような配慮もあります。

我が子だけでなく、子どもたち全体のことを一生懸命考える大人がここにはたくさんいるんだなという事を改めて思ったオープンデイです。

(学園公開グループ 藤好千晶)



*「聴く力を育てるシュタイナー教育」に

参加して*

5月14日に開催された連続講座「シュタイナー学校を知りたい」の第1回目である「聴く力を育てるシュタイナー教育」に参加し、聴くということをとっても大事にするシュタイナー教育の「聴く」ということをテーマに、体験(子ども向けと大人向け)とその背景を教えてくださいました。

子ども向けの体験では、ろうそくを囲んで「オオカミと七匹の子ヤギ」の語りと、小鳥のお話にあわせて木笛の体験を行いました。丸くなって子どもたちは、静かに聴くことと、自ら音を発する体験を行いました。子どもたちは柔らかく温かい雰囲気の中で心から楽しんでいる様子でした。大人向けの体験では、ゴングという珍しい楽器を演奏しました。大きさがまちまちな金属の円盤の中心を叩くと、大きい物は低く、小さいものは高く、気持ちいい音が響きます。最初は叩く順番をきめて、次に移動しながら音を受け渡し、最後はタイミングを見計らって即興で叩きました。自ら音を出すだけでなく、人の音を聴くことを、楽しみながら体験しました。

シュタイナー教育の低学年では、難しいことをしなくても美しい音が皆奏でられることを大事にするそうです。低学年の子どもであっても、美しい音であれば、自然と聴きに行くことができるからです。そして、美しい音を感じることで、世界が美しく善であるということにつながります。また、シュタイナー教育では授業は聴いたことをエポックノートにまとめて教科書なしに勉強するので、背景などを考えながら聴くことができるようになります。校内研修で卒業生が、教科書の行間が読めるようになるというつながりがありました。

将来の学校選びのために参加するお母さんお父さんが多く、真剣にシュタイナー教育について学んでいました。自分自身も楽しい音の体験と、シュタイナー教育の深みと面白さを勉強できて、また参加したいと思いました。

(2年生保護者)



インフォメーション

【模型展】思考する手・生命の建築

～村山建築設計事務所のしごと～

7月20日(木)～24日(月)

10:00～18:00

〈初日 13:00～16:00／最終日 16:00 まで〉
入場無料

横浜シュタイナー学園霧が丘校舎改修工事、十日市場校舎の設計に関わっていただいた村山雄一さんが、生命を吹き込んだ十日市場校舎で建築模型展を開催いたします。「ファイナル模型」の展示のみならず、図面の作業と並行して誕生した、粘土、段ボール、スチレンボード、バルサなどの材料で作られたさまざまなスケールの模型も共に展示します。設計者が想いを形にする、その思考のプロセスを是非ご覧ください。

内容、最新情報は学園 WEB サイトをご覧ください。

【日程決定】

連続講座 多面的シュタイナー考察
その1「医学」
～4つの臓器に学ぶ～

延期となっていました「医学」の日程が決まりました。

日にち：2018年1月28日(日)

時間：10:00～12:00

会場：霧が丘校舎

新たに事務局にお申込ください。

2018年度入学説明会

日時：9月16日(土)[A]

9月23日(土)[B]

[A]

9月30日(土)[B]

時間：[A] 14:00～16:00

[B] 10:00～12:30

場所：[A] 霧が丘校舎

[B] 十日市場校舎

参加費：無料

※A・B順に参加された方のみ入学願書(1000円)で配付します。

※A・Bともご両親でのご参加が原則となります。

※詳細はチラシ・学園 WEB サイトをご確認の上事前にお申込ください。

シュタイナー学校を知りたい！

体験授業 高学年編

「社会意識の発達と歴史」

日にち：7月9日(日)

時間：10:00～12:00

講師：黒沼亜矢(4期生担任)

会場：※十日市場校舎

料金：1,500円(要予約)

詳細は学園 WEB サイトでご確認ください。

※3回目のみ会場が異なります。

こどもといっしょのくらしかた

日にち：8月26日(土)

時間：10:00～15:00

会場：霧が丘校舎

料金：無料

みる●きく●あそぶ●たべる

まなぶをたっぷり楽しめる1日

公開イベント「月例祭」

日にち：7月15日(土)

時間：11:00～13:00

会場：みどりアートパーク

料金：無料(要予約)

詳細は学園 WEB サイトでご確認ください。

建築講座

「見ること、聞くこと、話すこと
～建築を通して」

日にち：7月11日(火)

時間：10:00～12:00

会場：霧が丘校舎

料金：2,000円(要予約)

詳細は学園 WEB サイトでご確認ください

◆YSG お知らせメール配信中

公開講座やイベント開催など、学園のさまざまなトピックをいち早くメールでお知らせします。

ご希望の方は学園 WEB サイトよりご登録ください。

星の金貨

公開講座や各種催し物の際には、どうぞお立ち寄りください。

人気の木製ロウソク消し・屋久杉のお箸・虹染めガーゼ・虹染めシルクなど入荷しています。

お問い合わせ

e-mail:hoshi-kinka@freeml.com

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.jp

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替： 00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店(セキヨウ店)当座0130702

横浜シュタイナー学園

Newsletter 第102号

2017年6月27日発行

編集：広報の会

発行：NPO法人横浜シュタイナー学園

https://yokohama-steiner.jp

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載をお断りします